

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名	ともしびの家-KODATSUNO-				公表日	2025年 2月 28日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		利用状況やお子さまの成長に応じて、スペースの使い方を定期的に見直し、より快適で支援しやすい環境を整えています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		職員の配置については、規定に基づき適切な人数で運営をしている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		視覚的な案内やサインを活用し、わかりやすい環境整備を進めている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		定期的な清掃と消毒を徹底し、常に清潔な空間を保つ努力をしている。こどもが落ち着いて過ごせるよう、明るく温かみのある空間づくりを意識している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		特性に応じて、集中できる個別の空間を確保し、落ち着いて活動できる環境を提供できるよう努めている。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		業務の向上を図れるよう、効果的なPDCAサイクルを取り入れ いきたいと考えています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者向け評価表を通じ、保護者の意向が的確に把握され、そのフィードバックが業務改善に反映されています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員からの意見が定期的に収集され、現場の課題解決に向けた改善策が着実に実施されています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		現在は行っていませんが、必要に応じて取り組みます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	○		研修義務のある研修の機会を確保している。必要に応じて、職員の資格取得を支援するなどスキルアップに努めている。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		こども一人ひとりの特性を理解し、適切な支援計画を作成している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		児童発達支援管理責任者のみならず、支援に関わる全職員が共通理解の下、こどもの最善の利益を考慮した計画作成に参加しています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		日常の行動観察を併用し、こどもの適応行動が多角的に把握されています。視覚的に行動理解ができるよう終わったらシールを貼っていくスケジュールを作成し個別に活用しているケースなど。	

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		月1回、全員でこども達の成長や興味を促す活動プログラムが効果的に立案されています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		活動プログラムの内容が固定化しているものもあるが、季節に応じたものや生活スキルなど柔軟かつ多様な取り組みが随時導入されています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別活動と集団活動がバランスよく組み合わせられ、こどもの状況に応じた支援計画が作成されています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援開始前の打合せにより、その日の支援内容や役割分担が明確化され、チーム連携が徹底されています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援終了後の振り返りを通して、実施内容の検証と成功点・改善点が共有されています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		終礼時、支援に関する情報共有や意見をまとめてノートに記録し振り返りを行っています。	
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的なモニタリングの結果を踏まえ、児童発達支援計画の見直しがタイムリーに実施されています。		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		関係機関との会議に、こどもの状況を熟知した担当者が参加し、情報共有が円滑に行われています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			相談支援事業所以外の機関とは、常時密に連携をとっているわけではないため、今後は必要に応じて体制を整えます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		必要に応じて都度連携や調整を行っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			必要性・保護者の希望に応じて行います。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		○			相談支援事業所以外の機関とは、常時密に連携をとっているわけではないため、今後は必要に応じて体制を整えます。

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		感染症の流行以降、交流を控えておりましたが今後同法人内のフリースクール生徒との交流会を検討したいと考えています
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		こどもの現状や発達状況について、日常的に保護者と情報共有がなされ、共通の認識が形成されています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		送迎時や面談時にご家族さまに対して支援の情報提供や聞き取りなど行い、ペアレントトレーニングを意識した日頃の情報共有を心がけています。	ご家族さま向けの研修や講演等は積極的に開催できていません。既存の研修等の情報を提供するなど、できることを行います。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		ご契約時に、運営規程や支援プログラム、利用者負担についてなど、分かりやすく丁寧な説明を心がけています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		モニタリング時に、ご意見やご要望をお聞きし、内容を反映している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		保護者さまの同意を得て支援に努めています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		感染症の状況により、実施できていません。今後へ向けて、参加しやすいオンラインでの情報交換の機会を設けるなど、多様な交流方法を検討します。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		月に1回、活動予定表や活動の様子などを通信を通して発信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		適切な配慮を心がけています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		地域交流は積極的にできていないため、今後は意識して支援を行います。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
非常時	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		必要に応じて確認をしています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		必要に応じて確認をしています。	

等 の 対 応	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットがあった場合には報告し、書類の記載と共有を行っています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		伝達研修を通し学びや気づきにつなげています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。		○		必要に応じて取り組みます。